

国家的に重要な研究開発の事前評価について

平成 27 年 9 月 15 日

評価専門調査会

1. 事前評価の実施について

総合科学技術・イノベーション会議では、「総合科学技術・イノベーション会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価について」(平成 17 年 10 月 18 日総合科学技術・イノベーション会議決定、平成 26 年 5 月 23 日一部改正)に基づき、新たに実施が予定されている国費総額が約 300 億円以上の研究開発については、事前評価を行うこととしている。

今般、各府省から平成 28 年度概算要求が提出されたことに伴い、対象となる研究開発の事前評価を実施することとする。

2. 事前評価の進め方

(1) 評価検討会の設置等について

評価専門調査会に評価検討会を設置して調査検討を行った上で、評価専門調査会がとりまとめた評価結果(案)について総合科学技術・イノベーション会議において審議を行い、評価結果を決定する。

評価検討会の委員は、評価専門調査会に属する総合科学技術・イノベーション会議の議員及び専門委員の中から評価専門調査会会長が指名した者(座長として指名した者を含む)及び同会長が調査検討に必要と認めて選考した外部の専門家・有識者等とする。

また、評価検討会は非公開で行い、評価検討会終了後に会議資料、委員氏名等を公表する。

(2) 実施スケジュール(予定)

平成 27 年 9 月 15 日	第 112 回評価専門調査会 ・ 評価対象案件及び評価検討会設置の確認
平成 27 年 10 月～11 月	評価検討会(2回程度) ・ 文部科学省からの聴取に基づく調査検討 ・ 評価結果原案のとりまとめ
平成 27 年 11 月	評価専門調査会 ・ 評価結果案のとりまとめ
平成 27 年 12 月	総合科学技術・イノベーション会議 ・ 評価結果案の審議・決定

3. 事前評価の対象となる研究開発の概要

「AIP: Advanced Integrated Intelligence Platform Project 人工知能／ビッグデータ／IoT／サイバーセキュリティ統合プロジェクト」

【文部科学省】

<研究開発概要>

革新的な人工知能技術の中核とし、ビッグデータ解析・IoT・サイバーセキュリティ技術を統合する次世代プラットフォームを形成することで、科学技術研究の革新及び様々な応用分野での実用化の加速を進める。このため、世界的に優れた競争力を持つ研究者の力を結集した新たな研究拠点(AIPセンター)を構築する。

その際、脳科学や認知科学の研究成果も活用するとともに、文部科学省・総務省・経済産業省で連携した研究開発も実施する。あわせて、情報科学技術に関わる研究者育成に取り組む。

<実施期間> 平成28年度～平成37年度

<予算額> ○概算要求額 : 100億円(平成28年度)
○国費総額 : 未定